

Cente Technical Information

発行番号	001-0060	Rev	第1版	発行日	2019/04/08
題名	まれに送信元が「0.0.0.0」のIPパケットを送信する現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">・Cente TCP/IPv4 Ver.1.00 – Ver.1.35・Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver.1.00 – Ver.2.22・Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver.1.00 – Ver.2.22・Cente IPv6 Ver.1.00 – Ver.1.45・Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 – Ver.2.22・Cente IPv6 SNMPv3 Ver.1.00 – Ver.2.22				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 以下の条件の両方に該当するユーザ</p> <ul style="list-style-type: none">・自IPアドレスをDHCPによって取得している。・DHCP処理が完了する前にUDP送信APIやTCP送信APIの呼び出し、ping送信を実施している(IPパケット送信を実施している)。 <p>【障害内容】 DHCPで動作させる場合に、EthernetのリンクアップからIPアドレス取得完了までの間にUDP送信APIを呼び出すなどIPパケットを送信すると、通常は送信せずに破棄します。しかし、まれに送信元IPアドレス「0.0.0.0」の不正なIPパケットを送信することがありました。</p> <p>【発生理由】 「自IPアドレス確定」、「送信IPパケットの構築」、「IPパケットの送信処理」のタイミングによって、「自IPアドレスが未確定なので送信パケットは送信せず破棄する」という処理が動作しないケースがありました。</p> <p>【回避方法】 以下のいずれかの方法で回避することが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">・運用で回避 : tcp_wai_rdy()やget_myip_info()を使用するなどして、自IPアドレスが確定していることを確認した後にIPパケット送信を実施してください。・ソースコードの修正 : DHCPパケット以外で送信元IPアドレスが「0.0.0.0」の送信パケットを破棄する条件を追加します。 (詳細については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。) <p style="text-align: right;">以上</p>					